

第十四卷 別編姫路城(昭和六十三年七月発行)正誤表  
第一刷

頁	訂正箇所	誤	正
181 187 164 161 159 159 145 142 128 107 99 76 74 72 42 17 4 vi 卷頭	写真21 見返し説明文 15行	酒井忠邦と高須鷲 関西学院大学付属図書館 柵	酒井忠邦(右)と高須鷲 関西学院大学図書館 柵
7 5 8 行	文亀元年(一五〇二) 「播磨府中めぐり」 通過して山陽道 行なっている	文亀元年(一五〇二) 「播磨府中めぐり」 通過して山陽道 行っている	文亀元年(一五〇二) 「播磨府中めぐり」 通過して山陽道 行っている
14行	みやこ主 浄光明寺×	みやこ主 浄光明寺	みやこ主 浄光明寺
11行	みやこ主 浄光明寺×	みやこ主 浄光明寺	みやこ主 浄光明寺
17行	みやこ主 浄光明寺×	みやこ主 浄光明寺	みやこ主 浄光明寺
11行	通過して山陽道 行なっている	通過して山陽道 行っている	通過して山陽道 行っている
42	「播州府中めぐり」	「播磨府中めぐり」	「播磨府中めぐり」
17	文亀元年(一五〇二)	文亀元年(一五〇二)	文亀元年(一五〇二)
4	柵	柵	柵
vi	見返し説明文 15行	酒井忠邦と高須鷲 関西学院大学付属図書館 柵	酒井忠邦(右)と高須鷲 関西学院大学図書館 柵
181	11行	同年十二月十三日	同年十二月十二日
187	11行	修 <sub>一</sub> 姫路城 <sub>二</sub>	修 <sub>二</sub> 姫路城 <sub>一</sub>
164	15行	特別史跡	史跡
161	4行	同六年に	同年に
159	10行	同年十二月	同年十一月
159	4行	三十年二月	三十一年二月
145	4行	諸費全分可被下候	諸費全分可被下候
142	9行	一大隊	一大隊
128	1行	十三年	二十三年
107	10行	(同年十一月)、	(同年十一月離職)、
99	表8	浄光明寺×	浄光明寺
76	7行	みやこ主	みやこ主
74	17行	行なっている	行っている
72	11行	通過して山陽道	通過して山陽道
42	14行	「播州府中めぐり」	「播磨府中めぐり」
17	7 5 8 行	文亀元年(一五〇二)	文亀元年(一五〇二)
4	15行	柵	柵
vi	写真21 見返し説明文 15行	酒井忠邦と高須鷲 関西学院大学付属図書館 柵	酒井忠邦(右)と高須鷲 関西学院大学図書館 柵

<p>427 391 347 345 338 307 305 303 245 238 236 236 236 233 230 230 219 219 214</p>	<p>頁</p>
<p>5 行 7 行 5 行 5・6 行 9 行 5 行 14 行 7 行 2 行 12 行 14 行 13 行 13 行 図 33 14 行 13・16 行 9 行 9 行</p>	<p>訂正箇所 表22 36備考</p>
<p>長尾 張ってない リの一櫓 リの一櫓 こと、撓<small>たわ</small>み方が イ・ロ・ハ・ニ・ホへの各渡櫓 二の櫓 付けて 明暦二年（一六五五） 計った結果と歴史的には評価 二の丸搦手との回門 勢隠への八頭門 下山里門 膝縄 膝縄 膝縄 膝縄 藤丘 沈石 いかり</p>	<p>誤 36と同じ</p>
<p>長尾 張ってない リの一渡櫓 リの一渡櫓 こと、撓<small>たわ</small>み方が イ・ロ・ハ・ニ・ホへの各渡櫓とホの櫓 二の櫓 付けて 明暦二年（一六五六） 計った結果と評価 二の丸搦手とノ四門 勢隠への八頭門 下山里口 膝縄 膝縄 膝縄 膝縄 藤丘 沈石 いかり</p>	<p>正 35の写し</p>



807 805 799 797 797 789 675 653 653 638 625 608 599 585 560 547 546 541 528 528	頁
下段 14行 下段 2行 上段 17行 下段 2行 上段 8行 下段 4行 上段 14行 下段 20行 八 下段 12行 三 下段 17行 図 272 在城期間 表34 本多	訂正箇所
十八日同省エ御 姫路・営所 候得共両面上申 金八百円宛来十二年 審査候処大蔵省 両者へ 芥田晴夫文書 橋本文書 芥田晴夫文書 (写真156) 墨書 元和3 (1617) へ寛永16 (1639) の下に 雪に天 船地慧 6行 8行 14行 6行 17行 寛保七年 文久二年 (一八六八) 生年 11行 12行 7行 6行 17行 7行 12行 11行	誤
十八日同省に御 姫路営所 候得共方面上申 金八百円宛、来十二年 審査候処、大蔵省 両省へ 芥田家文書 橋本文書 芥田家文書 (写真154) 墨書 天和2 (1682) へ宝永元 (1704) を加える (9行目の行頭に移動) 船知慧 生年 文久元年 (一八六一) 寛保元年 18行 17行 17行 7行 12行 11行	正

913	871	870	868	864	848	810	頁
3 〜 7行	10 行	15 行	11 行	16 行	8 行	下段 18行	訂正箇所
<p>一九八三 58</p> <p>一九八四 59</p> <hr/> <p>館 4・市立美術館・県立歴史博物館開 姫路市統計要覧</p>	<p>一九八三 58</p> <p>9・28 台風一〇号の余波により、東小 天守の壁一部脱落 姫路城記録台帳</p>	<p>下田録郎助</p>	<p>脇差</p>	<p>脇差</p>	<p>無触事 (写真 166)</p>	<p>(日下部) 印 (田口) 印</p>	誤
<p>5・24 大天守、水ノ五門南方土塀(水ノ四 門を含む)りノ門、カの櫓北方土塀、菱ノ 門西方土塀の各部分修理着工(翌60年3月 27日竣工) 姫路城記録台帳</p>	<p>6・21 いノ門、同東方土塀、ろノ門、ロ の櫓、同西方土塀修理着工(翌59年3月27 日竣工) 姫路城記録台帳</p>	<p>下田録郎</p>	<p>脇指</p>	<p>脇指</p>	<p>無記事 (写真 165)</p>	<p>(日下部) 印 (金井) 印 (田口) 印</p>	正

〔注〕 292 ページ図 65 と 316 ページ図 87 の水四門東方土塀の狭間数が異なるが、図 65 は修理後、図 87 は解体時のものである。

	頁	訂正箇所
	一九八三	4・1 市立美術館・県立歴史博物館開館 姫路市統計要覧
	一九八四	9・28 台風一〇号の余波により、東小天守の壁一部脱落 姫路城記録台帳
	59	6・21 いノ門、同東方土塀、ろノ門、口の櫓、同西方土塀修理着工(翌 59 年 3 月 27 日竣工) 姫路城記録台帳
	59	5・24 大天守、水ノ五門南方土塀(水ノ四門を含む)りノ門、カの櫓北方土塀、菱ノ門西方土塀の各部分修理着工(翌 60 年 3 月 27 日竣工) 姫路城記録台帳

正